伯剌西爾時報
發行所 伯剌西爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
購讀料（一ヶ年 六十錢 半ヶ年 三十錢）
珈琲 サントス四號 十キロ 四〇〇〇 リメイラ七號 二七八〇〇
爲替 買日 四、六〇〇 賣日 五、五七〇 買米 一九、六九〇 賣米 一九、七二〇 買英 七九、七二〇

第一パランドポリス
Snr. H. Koda
光田秀也殿
第一アリアンサ
舘三區

獨ソ戰の山が見えた 米の援助も掛聲だけか

特ル大統領使スターリン會談失敗說

【伯林六日發】（UP電）ルーズベルト大統領の特使ホプキンス氏とスターリン氏との會談內容は注視の的となつてゐるが、それに付き、五日の同盟ベルリン電報は次の如く報じてゐる

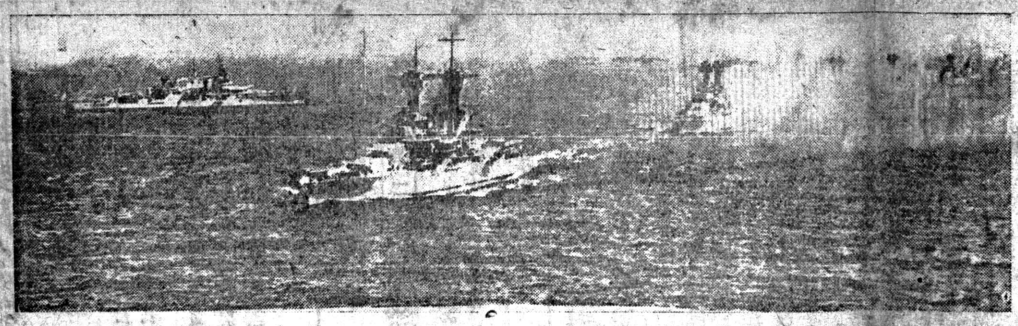
百合を讓渡する"ソ聯の要求に對し、米はこれを拒絕したと謂れる

向は獨逸外務省では右の會談で重要な情報を掴つてゐるが、今は發表の時期でない、と謂ひ、今回の米ソ會談は失敗だつたと見られてゐる

一方ワシントン方面の情報を綜合すると獨ソ戰の山も見へ、ソ聯が負けると決つた今日ソ聯援助でもあるまい

との說が有力で、米のソ聯援助も掛聲だけで終りそうである

ホプキンスとスターリンとの會談內容については嚴々の臆測が行はれてゐるが、ベルリン政界では、今次會談の重要項目中に、米空軍自慢の空の要塞大型爆撃機二



太平洋上に遊弋中の米國聯合艦隊

チャーチル首相渡米？

ル大統領と重大打合せ

【ワシントン六日發】（HT電）ウエルズ國務次官は五日、新聞記者團との會見席上チャーチル英國首相がルーズベルト大統領と重要打合せの爲め渡米するかも知れないとの噂があるが眞實かとの問に對し、肯定も否定もせず

そのやうな事はルーズベルト大統領から未だ聞いてゐない

と答へ

ダイシーが"アフリカの佛軍事基地を提供せよ"との

日米貿易前途見込薄

＝日本政府の見解

【東京五日發】（TO電）日米貿易の前途に關し日本政府の意見として本日午後發表せる處によれば、日米間の貿易關係に對しては、今後好轉するであらうと云ふ樂觀的材料は今の處全然見出せない、日米間の通商貿易は放棄の憂目を決めるべきであると

日本海軍 米タン船を連行

【上海六日發】（TO電）日本海軍は本日揚子江上に於て北米のタンク船一隻を拿捕し當港へ連行して來たと

日本軍佛印進駐完了

一部隊は既に國境へ集結

【東京五日發】（UP電）當市に傳せる情報通信によれば、佛印に進駐した日本軍は各要所に夫々駐屯を終り、今や殘余の日本軍は佛印內奥地に向つて進軍中である、殊に西南地方カンボヂヤに於ては既に泰國境に達して集中待機してゐると

日・英兩艦隊次第に接近

シヤム灣附近に風雲急

【上海六日發】（UP急電）確かな筋よりの報道として傳はる處によれば、目下日本艦隊は佛印沿海防備のためカムラン灣に碇泊中であつたが、日本軍の佛印カンボヂヤ地方への進駐と共に、同地方沿海即ちシヤム灣に向ひ進擊中の英國艦隊も泰國及び馬來半島防衛のため同じくシヤム灣に向つた

對日輸出に蘭印が許可制

【上海六日發】（TO電）バタビヤよりの確報によれば、今回ラン印政府は日本への輸出品に對し愛め許可を要することに決定した

獨の要求を拒絕したと聞く、が如何との問には明答を避けたと謂れる

皇軍泰進駐の意圖なし

【東京五日發】（TO電）日本政府スポークスマンは本日記者團と會見の際、今後外國に於て日本軍が泰國へ進駐するかの如く盛んに宣傳してゐるが、日本軍は泰國へ進駐する何等の根據もない、唯日本政府は、日下泰國と經濟的の協定を行はんとして居るものであると發表した

旗艦上にルーズベルト大統領と會談

司令長官

【倫敦六日發】（UP電）ルーズベルト大統領は本日英國愛用のヨットに乘船して海岸沿ひ北に向つて巡航したが、如何なる艦艇、航空機も其行先、目的につき見當つかず、唯大統領は魚釣りに出掛けたのだと稱してゐる、其後米海軍側のラジオ放送によれば、大統領のヨットは北米大西洋艦隊司令長官キング提督の坐乘する軍艦に

滿洲國 南阿人の資金凍結

【新京五日發】（TO電）滿洲國政府當局は本日より滿洲國內南阿人の資金凍結を行ふ

日本政府の見解

【東京五日發】（TO電）日本海軍は本日揚子江上に於て北米のタンク船一隻を拿捕し當港へ連行して來たと

佛印の物資難深刻

日本品流入あるのみ

【サイゴン六日發】（TO電）日佛印提携に依り、佛印は東亞共榮圈の一環としての第一歩を踏み出したサイゴン財界はこれまでの英米依存から離れ、日本と手を握つた、從つて今後輸入された重要問題は、日佛印提携の線を辿るものは日本の態度、政策如何にある、必要物資の速かなる輸入が實現すれば、佛印經濟は建直る、歐洲からの輸入杜絕し、通貨は暴騰してゐる、佛印の物資缺乏は深刻だ、此の旱天の慈雨の如く待たれるものは日本商品の流入だ、佛印に商品を供給し得るものは日本以外にない、現在では兩國間の物資の交流は未だ充分とは云へない、輸入の促進こそ焦眉の急務だ、次に來るのは米の問題だ、今年は作柄が一般に惡い所へ、バタンバン地方は米價の統制で出廻りが順調でない、これも日本の技術指導で解決したいものとしたい

旱天の慈雨

【サイゴン六日發】（TO電）日本軍進駐後の佛印の動向については、五日の同盟電報は、佛印商業會議所會頭の談話を次の如く報じてゐる

日佛印協定に依り佛印の內治外交に急激な變化を來してゐる、今後採られた佛印は日佛印の經濟的協力ある

外貨獲得方針止め 日本は佛印へ物資供給す

佛印商業會議所會頭談話を發表

の次だ、從つて印度支那銀行を中心とする自由主義經濟は今や岐路に立つてゐる經濟的にはハノイよりサイゴンがその中心となつて英米から物資が來ず、ドゴール派が逃避した今日、日本以外に取引先は無い、佛印は物資が不足してゐる、日本は宜く第三國との外貨獲得方針を止め、必要物資を共榮圈內に供給すべきだ

泰國の向背 極東の重大關鍵握る

【シンガポール六日發】（TO電）シンガポールからの報道によると軍艦を含む多數の印度兵がシンガポールに到着、四日上陸を完了した

又別報に依ると泰國は今や極東情勢を決定する重要な地位にあるので泰國の動向は東亞の盟主日本にとつても亦シンガポール、ビルマを經へた英國にとつても重要な問題となつて來たが、英國は最近、泰國、マレー國境に兵力を集中してこれを威嚇すると共に、泰が若し日本側に傾いた場合、石油、廉價の輸出禁止を行ひ、場合に依つては食糧禁止をも行ふ旨警告した

と謂れる、一方ビルマ國境には重砲軍が集結、近く英軍と合流せんとしてゐると謂はれ何れにせよ泰國は極東の鍵を握る重要地點となつた

米、三十二億弗增稅

【ワシントン六日發】（UP電）米政府は三十二億六百万弗の增稅案を下院に提出したと

ソ聯大使 豊田外相と會談

【東京五日發】（S電）駐日

泰國共榮圈參加の證左

八月五日附 滿洲國を正式承認

【東京六日發】（TO電）泰國公使は、在京泰國滿洲國大使に對し、六日午前九時タイ國は八月五日附を以て滿洲國を正式承認する

旨、見書を手交した、即ち去る二日附を以て滿洲國を承認する旨發表したが、五日午後一時公文書を以つて新京に此の電報を通じたと云ふのである、右につき大使館當局は記者團に對し滿洲國とタイ國との關係は古く滿洲國成立以來から友好關係を持續して來たが、實は片貿易で滿洲國からは殆ど何も輸出してないと言つて良い位微々たるものだが、タイ國からは米、豆、タバコ、チーク材などを輸入し、康德三年にはその額百五十四万三千円に上つてゐる、今後は片貿易が改められ、軍工業品その他の物資が輸出されるものと思はれる、又これまで英米獨占の感あつたゴム、鑛などの點滿輸出も期待されてゐると語つた、尙は今回の滿洲國承認はこれまでタイ國の動きを牽制するため殊にして來た英米に大きな衝動を與へてゐるが、タイ國の東亞共榮圈參加は最早時間の問題となつた

米政府巨頭動搖

【伯林五日發】（TO電）確報によれば、北米國務長官コルデル、ハル氏は病身にして重任に堪えず近々中に辭任することになつたが、後任として現陸軍長官スチムソン氏が就任し、陸軍長官後任としてウイルキー氏の呼聲が高い

上ハル國務長官
下スチムソン陸軍長官

ハル國務長官辭職か

後任はスチムソン氏 陸軍長官にウイルキー氏說

英米に大衝動

【東京六日發】（TO電）獨逸司令部發表

獨ソ開戰以來ソ聯機の損失

八月九百六十台、一日平均二百三十台に上る

開戰以來 ソ機損害八千九百

一日二百三十台

蒙古國參加の證左

八月五日附 滿洲國を正式承認

儀牲など構はぬ ウクライナ占領急げ

…上總統命令發す

【倫敦五日發】（UP電）映報よりの確報によれば、ヒットラー總統は昨日、獨ソ戰線ウクライナ地帶の獨逸軍司令官宛、如何なる犧牲を拂つても獨逸軍は可及的速かにウクライナ地帶を占領すべしとの命令を發した

二人草三郎

（百七十八）（七）

（映畫「新版上映」）

小川雄 堀倩

江戸へ

「まあ！」と照蔵が首垂れてゐた顏を上げて、

「あの牲蟹はいつも乾を目の敵にしてをります」

赤い夕陽の靄る障子の方をむいたその横顏の、海赤く玉のやうに皿の透けて見えるほど繊い寶物のやうに眺めた。

「へえ、よくそんな事がございますね——苛めける事が可愛がつてゐるのだといふやうな——」「えッ？」

「いやなに　それは人間の世の中の事ですがね——不思議な因緣、道理ぢや分らねえ事がございます」

「わたしには仰有る事が分りませんが……」

「分らなくつていゝのです、はッはッはッは」

白藏は笑つたが、その心の中では自分でも判斷のつかぬ奇妙な思ひに搖り立てられてゐる。伊勢屋の娘のお八重……それも草三郎と間違はれて、たつた一夜の契りで、あゝして非業な死に死んで行つた伊勢屋の娘のお八重……

そして、それと生き寫しの小夜の面影……

昨日峠であゝした事になつたのも、はつと伊勢屋の娘が生き返つて來たのではないかとさへ小夜を見て心を打たれた——その動搖が手傳つてゐたゝめにあゝして谷底へ落ちる不覺を取つてしたとも一面云へるのだつた。いはゞ伊勢屋の娘は、自分が手を下して殺したといつてもよい女で——而もそれと同じ姿の小夜であつてみれば、その傷から眼をそむけて逃出したい心と、一方にはさうした因緣のこの女に逢つたを幸ひ——とは思ふものゝやつぱり——昔の古藏に我れと手を解れるやうな痛みも感じて見たい——といつた變態な感覺もいた心と——その二つの心が胸中に葛藤する

「えッ？」

小夜が美しい眼を睜つた。

白藏は咄嗟にその眼の色を讀んで、

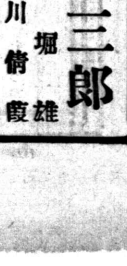
「いやなに……谷と云つても昨日峠のやうなあんな大したところぢやござんせん、ほんの間違ひで、なに、大方は沿つてゐるんでござんすが、慎の爲めにかうしてゐるだけで、何をするにもう不自由はねえのです」

その實あの夜、半三郎は奇蹟的に氣を失つたまゝ赤の深みへ落へ込んで何處も怪我は受けて下流へ押し流され、炭燒小屋へ助け上げられて傷の手當をしてもらつたのだつた

あの夜の事を思ふにつけても——

「ね、お八重さん——ぢやねえお嬢さん、あつしはもう一遍その顏に黑髮を長くしてあの時のやうな姿になつてお貰ひ申したいのでございますが——」

云ひながら、ぢりゝと一膝にじり寄る白藏だつた。



我重慶大爆擊の被害
死者一萬三千五百余
將官三十名　佐官七十名も含まる

（香港六日發）（ＴＯ電）五日重慶からの來電に依ると去る六月五日、日本空軍に依る大爆撃の被害について査問委員會を開いたが、死者一萬三千五百二十四名と發表、その内將官三十名、佐官七十名、尉官百二十名が含まれてゐる

荒鷲密雲衝き
衡陽第三次連爆敢行
【上海六日發】（ＴＯ電）中支那艦隊報道部六日午前九時三十分發表
我海の荒鷲は五日密雲をついて湖南省衡陽の第三次連爆撃を敢行、軍用倉庫を粉砕した

敵前自若の一針
苦難の兵士忽ち回復
軍陣醫學の花

【鎮海六日發】（ＴＯ電）第一線最右翼部隊の關根枝隊勇士らは枝隊長はじめ、一斉に海中に飛込んだ、進撃に勇士らから受取つて持つてやり、軍醫將校としてなによりも大切な衛生材料と一緒に海水に濡らさぬやう頭上高く差し上げて一歩々々と進んでゐた、その姿の勇ましさだが、そのうちに一兵士はつひに一歩も歩けなくなつた

「軍醫どの、すみません自分はあとから歩ります」と叫んだまゝ動かなくなつた靜止するとずる〳〵と身體は泥濘のそこへひきずり込まれ、そのまゝではもう死あるのみだ、中島中尉はとつさに軍醫としての責任感に強く打たれた、いまは湖所を選ぶべきではない、取り出したのは注射器であつた、强心劑のカンフル注射を施さうとしたのだ、だが兵士は胸まで海水と泥に浸つてゐる重い軍裝で胸まくりなど出來はしない、注射きりに聞まし「彈薬を出せ、銃弾を出せ」と叫ぶまゝ動かなくなつた

「軍醫どの、すみません」と叫んだまゝ動かなくなつた靜止するとずる〳〵と身體は泥濘のそこへひきずり込まれ、そのまゝではもう死あるのみだ、中島中尉はとつさに軍醫としての責任感に強く打たれた、いまは湖所を選ぶべきではない、取り出したのは注射器であつた、强心劑のカンフル注射を施さうとしたのだ、だが兵士は胸まで海水と泥に浸つてゐる重い軍裝で胸まくりなど出來はしない、注射器の嘴に狂ひはなかつた「軍醫殿御世話をかけてすみません」といつてゐるうちに兵士は見る〳〵うちに元氣を回復した再び聞が動きはじめた「軍醫殿有難うございました、もう大丈夫であります」「よし陸地までもうあと百メートルだ頑張れッ」兵士は感謝の涙をいぱい浮べて眼の前に近づいた陸地をめざして勢ひよく進撃した、敵前上陸の海中で行つた注射は最難學上はじめての經驗であり、彈雨下の機宜の措置によつて第一線部隊の戰力を復活させたことは軍醫將校の誠の責任を完全に果したものとして陣中の話題となつてゐる

颱風が來るぞ！
今明日中　九州南部　方面危險
【東京六日發】（ＵＰ電）五度目の颱風が本土を襲はんとし今年は颱風の當り年とでも云ふか困つたものだが、六日中央氣象台の伊藤技師は往訪の記者に颱風の模様について次の如く語つた

今度の颱風は七百二十キロの猛烈なもので毎時三十キロの速さで北西に向つて進んでゐる、今明日中に九州南部又は四國南部に襲來する危險がある、中心では四十米の風速だ

二六〇〇年記念事業
心身鍛錬道場建設計畫
豫算百十万圓

【東京六日發】（ＴＯ電）昨年十一月擧行された二千六百年紀念祝典の記念事業として心身鍛錬道場設計畫が進められてゐたが愈々具體化し、百十万円の豫算で五日工事に着手した、場所は小金井廠近傍で敷地九万一千坪と聞はれる

陸鷲
武功・秦水を空襲
山積の援蔣物資を爆砕

【東京六日發】（ＴＯ電）廣東省武功、甘肅省秦水を空襲、山と積んだ援蔣物資を爆砕した

通商破壞戰と船舶保護（五）
海軍省

通商破壞戰と國民の覺悟

通商破壞戰、本土空襲戰が展開され、太平洋上に日本商船の襲撃が續出し、帝都の上空からは爆彈の雨が降つてくる、情は持つてゐなければならない、わが海軍の統合的戰術の威力と、全將兵の士氣の訓練の旺盛、充實さに至つては正に完璧の備へである、しかもなほ敵の潜水艦が日本近海を荒し廻らぬとは何人も保證出來ず、また敵の飛行機が何處からまぎれ込まないとも限らないのである、及川海相もこの點について「國民の一人々々が爆彈を手の平で受ける心構えが必要である」と要望して固られるのである、今日重大時局に直面し、我が國民は少しでも動搖するやうなことがあつてはならない、もし不安を感じたりするやうなことがあると、みすみす敵の術中に陷ることを十分認識しなければならない

通商破壞戰と船舶保護（五）

一、海軍省

通商破壞戰、潜水艦戰、航空戰を總合して日本の海方生命線の制壓によつて完全なる對日經濟封鎖を敢行するとともに、日本本土の空襲、通商破壞戰等の長期に亘るゲリラ戰法を繰返して生産力の低下と物資の窮乏化を企て、國内民心の動搖を圖らうとするものと見られる

一旦緩急の秋合、開戰當初から活躍なる

謹告

謹啓　此の度當マリア婦人會は組織の爲め國防獻金を思ひ立ちました、幸にして皆様方から多大の御支援を賜はりました事を厚く御禮申上げますと同時に獻金の領收證に代へ御上を以て謹告します

一金貳百錢宛
本田梅子、岡本久美、沖正子、小川とし為、太田むつの、川平、大西ひろ子、大谷妙子、中尾崎小梅、尾山柏恵、鬼木芳枝、岡村三郎、乙藤宜風、岡野はる、波かこと、波邊笑子、和田市松、加藤ふい、梶村與志雄、加藤房江、加茂新一、川上実和江、加手苅伸子、吉田武雄、玉城瀧永、武田哲、田中妙子、谷本なる江、谷畑靜香、辻てる子、中本鶴雄、仲嶺眞神、中村榮子、無名氏、無名氏、無名氏、野又牧太郎、楠本榮、久保田清太郎、山本真子、山本和作、柳厚きぬ、山本文子、山城伊子、安田、松本かす江、松本愛子、渕田榮蔵、福田儀八、藤原ふみ、小林菅三郎、江野村一枝、青木清美、新垣文太郎、東あき子、東富子、淺野きよ子、荒木ふし江、齋藤ちよ、齋藤あさ、佐々木武與、榮實義、齋藤八重子、坂根俊三、佐藤たい、佐伯仁助、里見豊子、木南なを江、北本武男、木戸千代美、結城要子、宮城勝子、宮城昌明、水谷實蔵、宮原久榮、宮城清昌、清水春子、渡谷由子、清水きよ子、清水いゝあの、清水美榮、平田パール肥田、樋口きみ、比嘉きく子、森村眞由美、諏山きた
一金拾五銭宛　花田
一金拾六銭宛　池本一太郎、坂東はる、長尾森太、上杉初丸、山本榮作、前芝まつ江、古峰榮江、齋木軍夫
一金拾銭宛　野村きじゆ
一金拾貳銭宛　井上勝太郎、岩野親雄、石井かよ、井個ちよ、石井健蔵、石井實、林田とき、林春子、羽為スミス、西田パール、西口とみ、新村しま子、本田たみ子、島越隆司、富崎實、智念榮子、竹馬竹次、岡田賢二、大城理髮店、尾上友江、小田しな代、大野、奥村勝己、渡邊富子、梶田鏡、金城田文、加進武、河野千代子、我如古由太郎、我如古つる、河野すみ江、神村欣廣、吉岡

総計算　一金伯貨拾參コントス
七百七拾參ミルレース也
發企者　マリリア婦人團

むいとぼんん
寫眞館
リンスシ市オヤツビツツ街
主　江口桂秀

急募
パッサドール　一名
見習　一、二名　優遇す
チンフラリヤ　ジャポネーザ
サントアンドレ市ドットル、シャヴイエル・ヴ・トレード街
一九四　電話四一九

聖市コンデ・ド・ピエヤール街
山田齒科療院
（中央商店二階）
電話　二一七五〇八

絶讃の嵐！
飛ぶ様に賣れる
輕便勞働靴は
又左記の様に　より良く改良されました
改良された點
一、靴のカガトが外側にユガマヌ様に
一、從前よりアミアゲを深くして砂のより入いらぬ様に
一、皮及びローナのヌイ目をより强き様に
一、從來よりより輕るく丈夫な様に
改良！　改良又改良
駄目
サツパトン（從來の皮製勞働靴）
テニス靴（ツック製ゴム靴）は
即ち　サツパトン……は余り重たくして皮が固くなりカガトがユガミ履きにくく一日の勞働には余りにも疲れやすし
ツック製ゴム靴……は輕快なれ共も裏ゴムが折れ切れやすく靴中にチリ、スナが入り朝はつめたく日中は足裏が熱くなり、其の使用に不快を覺へ誠に不衛生的なり
駄目
は前者の様なダメな點に注意を拂ひ改良に、改良を加へて多年考案して出來上りたる
吾が「輕便勞働靴」
理想的農村用勞働靴なり
（輕便勞働靴賣行の實證）
一、チエテラ産業組合
一、平野産業組合
一、コチア産業組合
一、ペーラクルス産業組合
一、マリリヤ産業組合
一、ブ・ブルデンテ産業組合
一、其他各地方有名商店（以上御注文順）
一、バストス産業組合
一、アリアンサ産業組合
一、モヂ・ダス・クルーゼス産業組合
一、ポンペーヤ産業組合
一、ゼツリーナ産業組合
一、トレスバラス産業組合
リンス市郵函二〇三
發賣元　カマダ商店
製靴部

昔の濕地も面目一新 今では……蔬菜供給の 立役者！ 毎日市民に喜ばれ居候

お便り申上候

サンタ・クルスから

リオ市の人口増加に伴ふ食糧問題

に蔬菜類不足の對策として農相（現聯邦執政官）フェルナンド・コスタ氏が、同市近郊サンタ・クルース地帯へ日本人の蔬菜栽培者を移しそこに植民地を開設したことは既報の通りであるが、同地帯は昔から低濕地なる爲め、何人も省みざるばかり、却つて蚊々病氣の發生地として嫌惡されてゐたが、排水その他衛生施設の根本的な改善と、邦人の進出とにより、今日では面目を一新し、驚くべき變貌をなしつつある、すなはちこの沼澤地帯は、今やリオ市民の唯一の蔬菜供給場となり、小農的大植民地と化し邦人の外に伯人の入植者も増加し、現在では毎日十八台のカミュオンにて約七十トン宛の新鮮にして安價な蔬菜をリオ市場に搬出してゐる狀態である、殊に邦人植民者は年少くとも一千コントスの野菜を生産してゐるが、トマチ栽培の如きは、邦人の獨壇場で、その獨特の植栽技術によりトマテの木幹二米以上に成長する好成績を示してゐる、これもフエルナンド・コスタ氏の大英斷と指導に依るが、邦人植民の努力に對しても當局は大いなる滿足の意を表してゐる、尚今回植民地附近の空地を整理擴大し、更に多數の小農植民を入植せしめ、今後はヨーロッパ種の果樹類をも栽培奬勵する計畫である

邦人不良・宿屋を荒す
狙はれたは地方出の男
子供の治療に工面の金

旅館内に於ける投宿者の盜難事件の多いことは既知の如くである、兎に角組主も無責任にこれを看過する場合が多いといはれてゐるが、客に於ても充分な警戒が必要である、去る一日（金曜日）聖市ビネーロス某旅館に於て盜難事件があり、現金五百幇の他時計（時價百三十幇）其の他三十幇程の品を盜まれた、被害者は投宿者の一人で、彼は子供が病氣になり、貧困なれど病氣を治してやりたさから、やつと金を工面郵送して十日程前モヂアナから出聖して來てタパチンゲーラ某旅館に泊つたが、經費の都合で止むなく その日ビネーロスへ宿を替へたものであるが、病兒を抱て金はなし、知人もなく困惑に泣いてゐる

因に犯人は二十歳前後の不良青年であるが、女中を誘惑化しまんまと右の犯行をなした、報せによつて警官が駆付けたが既に遅く、何處かへ姿を消した後の祭であつた

亞國外務省抗議
"閻魔帳に——"

北米政府の發表した米洲各國に於る樞軸國關係の商社に對するブラック・リストに對し亞國政府としては、それが國内取引は勿論凡ゆる經濟活動にも影響するといふ見地から外交々渉を通じ抗議を申込むべく協議が續けられてゐると聞はれる

大統領……カ市安着

去る四日麻州カンポ・グランデ市に到着したヴァルガス大統領は、當夜同地の牧畜業組合大サロンに於て催された盛大な歓迎晩餐會に出席したが列席した麻州社会界及組合員のために一席、麻州特産の牧畜業の使命と發展を述べ總大の讃辭を受けた

今朝の話題

ヒットラー總統と奈翁の力

新秩序建設を標榜するハーケンクロイツ旗は今やバルカン全土に飜り、英米必死の抵抗工作に抑らず、フランスもまた獨軸陣營に馳せ參じた、これで十九世紀の初頭、かのナポレオン一世の勢力下に降つた歐洲と、今日ヒットラー總統がヴェルサイユ體制打破を叫んでナチス旗のもとに結合した歐洲は、面貌においては同じくらゐの大きさになつた——圖中黒く塗りつぶされた部分は（上）今日の獨軸陣營（下）ナポレオン支配下の歐洲

チリー、歐洲市場との通商確保に懸命

チリー政府は歐洲市場との通商關係を維持する爲、但國同樣獨逸のライプチヒに於て八月三十一日から九月四日迄チリー國の總產物の展覽會を開催する事になつた、伯林駐在チリー大使の言に依ると、當市に於るチリー產物展覽會は國際通商の平衡を保たしめ歐洲に於るチリーの通商貿易を擴大せしめるに大なる貢獻であると

代々遵守する家憲
ロックフェラー 世の界富一豪 十訓
マイクを通じロ氏二世放送

世界一の富豪と謳はれるジョン・D・ロックフェラー第二世氏は初代ロックフェラーが徒手の生活を律した家憲であり、現にロックフェラー家族一統の遵奉し、實行しつゝある根本的且恒久的なお教であるとて去月八日夜WMCAを通じて十訓なるものを放送した、この十訓は凡て「子は供する」と書き出してある、即ち

一、個人の優越なる價値を尊重し生活の權利、自由及び幸福の享有を信ずる

二、各個の權利には責任が伴ひ各個の機會には義務が伴ふ

三、法律は人のために設けたもので人は法律のために假られたものではない、故に政府は人民の僕であつて人民の主人公ではない

四、勞働は手に依ると頭に依るとの別なく其品位を保有することを信ず、故に世界は何人にも世界自身の存在に資ふ所はないが年併各個人に對して夫々生計を營む機會を與ふる義務がある

五、貯蓄は秩序正しき生活になくてはならぬ要素である故、政府にせよ事業にせよ個人の事柄にせよ節儉は根底ある財政機構の第一義的要求である

六、眞理と正義とは社會秩序を維持する根本的要素である

七、約束の神聖を信ずるが故に人の一言はそのポンドと同じく純良でなくてはならぬ、富も權力も地位も人格の最高價値には敵し得ない

八、役立つ奉仕をなすことは人類通有の義務である、故に機會を與ふる義務がある

九、個人の最高の成果、最大の幸福及び最廣の功績は全能にして全愛なる神の意志と調和して活くる唯に發見される

十、愛は世界の最も偉大なるものであり唯愛のみが憎惡を制し勝る、而して正義が暴力に勝つことを信ずる

雑記帳

聖市來訪中であつたコスタ蔵相は、聖市以來各方面より歓迎攻めにあつてゐたが、一昨日午後十一時、ノルテ線發の特別列車で軍將星、高官その他議員、工、商方面各名士の見送り裡に退聖、帰府の途についた

◆——

歐洲の戰火を逃れた數百名の難民が五日"セルバ・ビント號"でリオに到着した、その中には前獨逸大臣アルベルト・デ・ダエイダ・シモンフランス新聞記者パウル・ローレイン、アビの外交官、瑞西の外交官、及北米新聞記者ジョン・マクナイト氏等の顔があつた、獨逸大使ノーブレ・デ・メーロ氏も同船で來任した

◆——

伯國中央銀行總裁に於ては、最近燃料減少の危機に直面して、棉のタート一万五千噸を買上げ、燃料供給の一方策を構ずるべく研究に着手した

◆——

ブエノス市警察當局では、多數の賣遊客偽紙幣を發見したが、非公式に發表したが、右に關し同地警察新聞は恰もナチス派がこれに關係あるかの如く報じてゐると

◆——

世界の松岡となつてゐた前外相の長子謹一郎君（二七）は、今春帝大卒業後同盟通信社に入社勤務中であつたが、先般行はれた徴兵檢査で美事甲種合格したので、近く勇躍入營することになつた

◆——

聖市蔬菜物統制委員會では、來る十五日までに、現在保有してゐる古い玉蜀黍を一トンに付き、わづか一ペソで賣り拂く西發表してゐるが、マツタク話の樣な事實である

◆——

怪しげな暦に基く無益な迷信を打破する運動が最近聖市で盛んであるが、厚生省社會局が各種暦、易本等を集めて檢討した結果によると家相方位などは殆ど全部が全く人を惑はす迷信に過ぎず、例へば「鬼門の方角に便所、井戸台所、浴室等を作ると不吉なことがある」——などは全くの迷信で、少しも肯けるものがないとある

◆——

船舶不足に依る亞國物產の輸出難後に支障を來してゐるが、去る一日亞國船ホセ・メンデス號が三千トンの穀物その他を積んでケープタウンに向つた、同船には三十余名の船客も便乗した

人體科學のなぞ……"
——結婚後・男が女に變る——

——相思相愛の男女がやうやく願ひ叶つて結婚したところ何んと新郎が女になつたといふ珍談がある——

北米羅府に在住してゐるエドワード・リチャード君（廿九）は昨年十一月、友人の宅でローレンス・コックス嬢（卅二）といふ中年増に初めて會つて卻ち意氣投合、その後戀愛を續けてゐたが最近目出度結婚してしまつた處、どうしたことか新郎リチャード君に一大異變が起り、彼氏であるリチャード君は卻ち彼女となつてしまつた、驚いたのは新婚コックスさん

「結婚してから間もなく夫が女性になつて行くので驚きました、私は夫が夫として生活する夢の出來ないのを知りましたので、お互ひ話合の上で法律上の手續きをとるつもりでをります」

一方男性から女性へと早變りをした新郎リチャード君は、その名もパーバラ嬢と改名したが

「私は女になつてとこも幸福だと思ひます、ネ君、いやあなた達、女の方がいいでせう！」

と嬉しい顔してすましてゐる——

歐洲戰亂の波紋

英の新案・軍事郵便撮影送輸

ロンドンの郵政當局が近東方面より軍事郵便激增の對策として十日程前モヂアナから出聖して來てタパチンゲーラ某旅館に泊つたが、これがまた繁昌しすぎて惱みの種となつてゐる、エアグラフとは發信者は規定の用紙に通信を書き軍當局ではこれを寫眞にとつてネガをロンドンに送輸、同地で再び引伸ばして配達するといふ仕組で、この方法によれば送輸能力は從來の約百五十倍に增加されるものだと

女配達夫優遇に拗ねた男配達夫

アメリカのウエスターン・ユニオン電信會社では電報配達夫が續々入營し、または給料のうんといふ高額工場に走つてしまふので、最近やむを得ず女配達夫を採用してゐる、ところで女營男卑のアメリカのことと彼女たちは樂な役割ばかり！男配達夫は雨の中を走り鍛錬を押しわけて行かねばならずと拗はじめ、遂に彼らは組織して賃金の値上を要求一斉罷業に入つたこともあつた

羅馬に美味しい水牛のテキ見參

ローマに水牛のテキがお目見得した、この水牛はローマ附近ポンチネ沼澤地にある大小無數の運河の排水をよくするため數世紀にわたつて運河の水草を食つて國家に御奉公してきたものだが、戰時下イタリアの新しい要求に應じてローマ市民の食卓に上つたのである、肉は美味でビフテキと大差ない

グワラペスに大綜合運動場建設
日伯合同青年團の事業

ノロ線グワラペス市にこんど日伯青年を合同した汎グワラペス日伯聯合青年團が誕生したが、これを機會に有志大運動場建設に着手した、同運動場はフットボールを中心に陸上競技場、庭球コート、野球場、籠球コート等を含む大規模のもので、八月中旬には完成の豫定である

シユメリング叙勳さる！
戰死は虚報・至つて元氣

世界重量拳闘選手マックス・シュメリングは、バラ戰に參加、戰死の報が傳はつたが最近ベルリンからの電報に依ると、彼はこの程二等級第一級十字勳章を授けられた彼は現在その所有地ポメラニヤに於て病氣治療中であると

重要商品市況

八月五日

	賣値	買値
◆バタタ	六〇キロ	
アマレラ	二五〇	二〇〇
スペシアール	二〇〇	一七〇
◆小豆黒一級	一二〇	一〇〇
ファリンハ	一〇〇	八〇
マンヂオカ	五〇キロ	
砂糖	一二〇	一〇〇
	六〇キロ入	

蔬菜相場

八月六日

	聖市	郊外
トマテ（コチナ組組）		
スペシアル	一二〇	一〇〇
プリメール	一二〇	八〇
セグンド	八〇	一二〇
レポーラオ	一四〇	七〇
ピメントン	一二〇	一〇
バーヂ	一二〇	一〇
エルビーラア	一二〇	一〇
ポブリンハ	一二〇	一〇
ペピーノ	一〇〇	一〇〇
人參	一〇〇	一〇〇
コーベフロール	八〇	一〇〇
バタタ	一〇	一〇
ナス	一〇	一〇
玉子	一〇〇	一〇〇

棉の相場

棉花取引所建物

八月五日

單位　十五キロ

	賣値	買値
四級	五七、〇〇〇	五九、〇〇〇
五級	五二、〇〇〇	五二、〇〇〇
六級	四七、五〇〇	四八、五〇〇

毛筆ペン字 個人教授
初學者には懇切に御指導致します
聖市グリセリオ街七六六
書道研究所
電話 七・壹貳六七　七・貳六七四

廣告
邦人唯一の慈善事業たる伯療養所建設資金募集の爲近く小生の代理人として河野嘉猷を御地方へ何はせ申候に付何卒宜敷御後援を賜り度御願申上候
ビラ・コンセツソン
肺療養所建設事務所
有志代表　高岡專太郎
モヂアナ線邦人各位

求人
從業員一名
但伯國在住十年以上にして當國生れの子女を有すること又は第二世たること、履歴書持參委細面談
ジユケリー農產組合
Rua Miguel Carlos, 77

清酒 伯鶴 クキサラ駅 鈴西三番

Dr. José Dell'Oso
R. Marconi, 131 3°and.
Salas, 303-304
Tel. 4-1720
結核病　外科　泌尿器科　診察時間午後4時7時　本廣告持參の患者には半額にて診察致します　住宅 Rua Teixeira da Silva, 428

印刷物の御用命は
時報印刷部へ

A Cidade de Florença
Rua 15 de Novembro, 49 Fone. 2-5994
Caixa Postal. 440 - São Paulo
高級男兒服、可愛い女兒服又各種コドモ用品は是非專門の弊店の品を御覽の上お買求め願ひます。他に御誂ひ又は既製服、帽子、外套、カツパ、グラバツタ等々總て斬新優良の品を特安で奉仕致して居ります。
ア・シダーデ・デ・フローレンサ
キンゼ・デ・ノーベンブロ街四九
子供服賣出し

NOBIS
ブラジルで最優良のガジミーラはマルカ「ノービス」です
染色絶對保證、優美な新柄模樣、値段廉價
御出聖の際は是非當店に御立寄下さい
製造販賣元 ラニフイシイオ サンタ・ローザ
聖市ベンヂャミン・コンスタンテ街四八番　電話三一六三四一
R. Benjamim Constant, 48
Fone. 3-6341 - São Paulo

種苗 種子 接木 の消毒劑として理想的なバイエル製
ウスプルン（セツコ、ゾルーベル）
▲棉種子消毒の準備も今から致しませう
聖市 マリリア市 リンツリンス プロミツリンス プ・プルデンテ
カーザ東山
有利の獲得品として（チマを植えよ）
電熱工業用 優良特製種子 一包 二圓
時報商事部

大賣出し
冬物棚ざらへ
春向新柄物紹介
四日より二週間特價提供
ローシヤ・キイト
Loja Kito.
コンデ・ド・ビニヤール街支店は八月一杯を以て本店へ合併の爲二十日迄特別大割引致します
本店 リベイタイ街二五五　支店 コンデ・ド・ビニヤール街二〇

Redacção — Rua Fagundes, 188
Telefone 7-4670
Caixa Postal, H

NOTICIAS DO BRASIL

Diretôr MASAHIRO SAMESIMA

Assignatura Anual ..... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero de dia ... 300 reis

ANO XXIV — S. PAULO QUINTA FEIRA 7 de AGOSTO de 1941 — DIARIO No. 2548

GRANDIOSA RECEPÇÃO AO PRESIDENTE VARGAS EM CAMPO GRANDE

O Chefe do Governo, que foi recebido pelo Interventor Julio Muller e comandante Pinto Guedes, passou em revista as unidades do Exercito formadas em sua honra

CAMPO GRANDE, 5 — Em campo Grande, séde do comando da 9.a Região Militar, chefiada pelo general Pinto Guedes, encontram-se aquartelados o 18.º Batalhão de Caçadores, a 2.a Companhia Independente de Transmissões e o 2.º Esquadrão de um Grupo de Dorso.

O Presidente Getulio Vargas, a sua chegada, passou em revista essas unidades, recebendo as continencias de estilo.

O Interventor Julio Muler e o general Pindo Guedes receberam o Chefe do Governo, em companhia de outras autoridades.

Do aerodromo rumou o Presidente para a cidade, onde a população o aguardava para homenagea-lo. As ruas estavam embandeiradas, e, ao passar o carro presidencial, milhares de escolares formados lançaram-lhe flores. Tambem formaram os trabalhadores, em grandes demonstrações de entusiasmo.

O povo, seguindo o carro em que viajava o Presidente, formou um grande cortejo até o Quartel General, onde se iniciou o desfile.

Surgiram primeiramente os trabalhadores, empunhando disticos sobre a legislação social brasileira. A lei da oito horas, da sindicalização, de ferias de aposentadorias, a da justiça do trabalho e de todas as grandes realização que alcançamos no terreno social, eram apontadas como marco da obra nacionalista do Governo do sr. Getulio Vargas.

Veiu depois o desfile escolar. Cinco milc crianças, de todos os colegios passaram diante da tribuna presidencial, arrancando estrepitosas palmas da assistencia. De quando em vez os alunos entregavam ramalhetes de flores ao Presidente, que saudava os estudantes, dirigindo-lhes algumas palavras de estimulo. Foi este o major desfile escolar já realizado em Mato Grosso.

Finalmente desfilam as forças militares, sob o comando do coronel Caiado de Castro. Vem primeiro o Batalhão de Caçadores, seguido da Companhia de Transmissões, Grupo de Dorso e do 2.º Esquadrão.

Durante a parada, ouviam-se frequentes aclamações populares ao Chefe do Governo.

Deixando o palanque presidencial, o sr. Getulio Vargas recebeu fervorosa homenagem dos escolares, que cerraram filieras em torno do primeiro magistrado.

O Hino Nacional, cantado pelos escolares e pela massa popular, encerra as manifestações de civismo tributadas ao Presidente, oferecendo um espetaculo de grandiosa emoção patriotica. Momentos após o Presidente retira-se para repousar.

Monumento ao Presidente Getulio Vargas

RIO, 5 (Pelo telefone) — Os Sindicatos de empregados do Distrito Federal reuniram-se novamente sob a presidencia do sr. Rego Monteiro para tomar conhecimento das realizações da comissão executiva relativamente as obras do obelisco que está sendo levantado na praça 11 do Junho como simbolo da gratidão dos trabalhadores ao Presidente Vargas.

Foi comunicado ao plenario ter sido efetuado o penultimo pagamento de 80 contos de réis a empresa encarregada de bater as estacas da fundação pretendendo-se em breve iniciar a concorrencia publica para conclusão da grandiosa obra. A commisão executiva prómonumento dirigiu um oficio ao ministro da Guerra solicitando-lhe a nomeação de um engenheiro militar para fiscalizar e acompanhar os trabalhos que vêm sendo executados assim como um nação de solidariedade ao sr. Rego Monteiro.

HOMENAGEADO O EX-MINISTRO FERNANDO COSTA

RIO, 5 — Com a presença do ministro interino Carlos de Souza Duarte, de vários diretores e funcionários do Ministério da Agricultura, jornalista e inumeros amigos do homenageado, realizou-se, ante-ontem, a cerimônia de inauguração do retrato do ex-ministro Fernando Costa, que foi gentilmente oferecido pelo professor Carlos Reis, na sede do Serviço de Informação Agricola.

O agrónomo Itagyba Barçante, diretor desse Serviço, falou no ato ressaltando a ação fecunda do sr. Fernando Costa na pasta da Agricultura e salientando que em sua administração fora cread oesse orgão dirigente da propaganda agricola, difundida através do Departamento de Imprensa e Propaganda, com o qual mantem permanente e intimo contacto. O diretor do SIA ainda se referiu a importância que assume, neste momento, a divulgação, de carater rural, verdadeira campanha destinada a fomentar o nosso de envolvimento económico, sobretudo do interior.

A cerimonia, que se revestiu de simplicidade, terminou, em seguida, com uma prolongada salva de palmas ao novo interventor em São Paulo.

O Brasil já exporta cimento

Em 1935, o Brasil ainda importava cimento cuja produção em nosso pais é, pode-se dizer, uma consequencia da politica do Estado novo, que favoreceu a instalação de grandes fabricas, capazes de cobrir as necessidades do nosso consumo. A industria nacional do cimento teve inicio em São Paulo, no ano de 1926, mas em condições tais que, mesmo naquela época, as nossas exigencias em torno desse material de construção só podiam ser atendidas mediante a importação. A primeira produção em grande volume teve lugar em 1930, com um total de 87.160 toneladas. Daquele ano em diante, essa produção foi aumentando, ao mesmo tempo em que diminuia, proporcionalmente, o volume do cimento importado. As fabricas existentes nos Estados do Rio, São Paulo, Minas Geraes, Paraiba e Espirito Santo contribuiram para diminuir a importação que passou de 384.500 toneladas, em 1930, para 22.786, em 1940. A produção industrial, por sua vez, que era de 87.160 toneladas no citado ano, passou para 743.630 em 1940. E, para terminar, eis um detalhe expressivo: o Brasil que nunca exportou cimento, começou a fazê-lo em 1938, iniciando com a pequena quantidade de 6 toneladas, que no ano seguinte, aumentou para 15 e alcançou no ano proximo passado um total de 402 toneladas!

O PLANO RODOVIARIO NACIONAL

RIO, 5 (Via Vasp) — O sr. Iedo Fiuza diretor do Departamento Nacional de Estados de Rodagem, do Ministerio da Aviação, atendendo a um convite do general Góis Monteiro, fará a 8 do corrente, ás 9 horas na Escola de Estado Maior do Exercito, uma conferencia sobre o tema «O plano rodoviario nacional».

A palestra do dr. Iedo Fiuza está sendo aguardada com interesse por parte dos oficiais do Estado Maior.

Cooperativismo em S. Paulo

RIO (Via Vasp) — O Serviço de Economia Rural cada dia extende mais as ua rêde de infruencia direta, decorrente das leis das Sociedades Cooperativas, aproveitando todos os campos de ação, aptos a receberem instruções relativas ao sistema cooperativisma.

Dai os convenios efetuados com os Estados mais prosperos, os quais tomaram, sob as respetivas responsabilidades administrativas, todo um programa de assistencia às sociedades cooperativas, que se vem acentuando dum modo profundo, mormente nos setores da produção agro-pecuaria. Tal expansão economico-cooperativista, segundo as estatisticas enviadas ao Serviço de Economia Rural, pelo Deparmtamento de Assistencia ao Cooperativismo, do Estado de São Paulo, se revela favoravelmente às cooperativas rurais, entre as quais as de laticinios, credito agricola, mandioca, scafeicultores, fruticultores, agro-pecuarias, caixas rurais, vinicolas, fumicultores, algodão, cana de açucar, trigo, num total de 171 cooperativas sobre 60 de outras espécies, dentre elas 48 consumo e 12 outras, como sejam as de seguros, predial, serviço publico, trabalho, credito popular, já não falando bde numerosas cooperativas escolares. O movimento geral de associados monta a 39.501 brasileiros, 14.836 estrangeiros, 1.930 não especificados, abrangendo um total de cooperados em numero de 56.354, que contribuiram com um capital subscrito no valor de 33.227:485$000.

Incremento á cultura do milho

A Secretaria da Agricultura tendo em conta a grande importancia do milho como alimento para os rebanhos, vai iniciar, dentro de breve, uma campanha pela incrementação da cultura desse produto.

Nessa sentido, a 5.a Seção Técnica daquela Secretaria acaba de submeter á apreciação do DEIP, um vistoso cartaz destinado a ser amplamente distribuido pelo interior do Estado, à maneira do que se tem feito com relação a propaganda dos demais produtos.

VISITA DO SECRETARIO DA AGRICULTURA AO INTERIOR

O dr. Paulo de Lima Corrêa percorreu, de sabado a segunda-feira última, diversas localidades Paulistas

Esteve em visita ao interior do Estado, no sabado, domingo e segunda-feira ultima, o sr. Paulo de Lima Corrêia, secretario da Agricultura, que se fez acompanhar do sr. Osvaldo Prudente Corrêia, oficial de gabinete de s. exa.

O titular daquela pasta teve ocasião, nessa viagem, de visitar as instalações para insdustrialização da laranja e a sub-estação de sericicultura em Limeira, a estação experimental de citricultura em Cordeiro e a estação experimental de piscicultura em Pirassununga, esta pertencente ao Ministerio da Agricultura.

O sr. Paulo de Lima Corrêia visitou tambem a borragem situada na cachoeira de Emas, onde aquela Secretaria determinou a construção de uma nova escada para peixes, afim de favorecer a ascenção dos peixes as regiões mais altas do rio, sobretudo por ocasião da piracema.

S. exa. ainda esteve na fazenda do sr. Floriano Alvaro de Souza Camargo adiantado e velho agricultor na estação de Baguassu', onde pôde apreciar o grande bosque daquela palmeira que deu nome á referida propriedade e que constitue um magnifico recanto a qmargem do rio Mogi-Guassu'.

Nessas visitas o sr. Paulo de Lima Corrêia inspecionou os serviços que se estão realizando e as necessidades locais. Nas instalações para industrialização da laranja, em Limeira, recentemente instaladas pela Secretaria da Agricultura, pôde s. exc. verificar a extração do oleo dos citros, nova industria que vem tomando grande impulso ultimamente entre nós, constituindo uma solução para os produtores de laranja avvisto ser altamente comerciavel e bem reputado nos mercados internacionais.

* * *

農業

ネマトーダの驅除

必ずしも不可能ならず

但し對策の考慮を要す

被害は土質の惡化にも依存することは大きいが、更にもつと大きな原因として病虫害の増大することである。

作物によつて病虫害は様々あることは謂ふ迄もない處であるが、連作を不可能に陥れる重大な要素の一つに地中に潜んでゐて大害をなす害虫：線虫を擧げることが出來る。

父の名はネマトーダと稱し其の大部分の種類は土中に在るため、直接殺線虫の方法無く如何なる作物も殆ど例外なく大害を受ける。線虫に連作の挿合には急激に一種類の線虫が増殖を遂げ遂に作物植つけ不可能に陥る。

線虫を擧げることが出來る父の名はネマトーダと稱し其の大部分の種類は土中に在るため、直接殺線虫の方法無く如何なる作物も殆ど例外なく大害を受ける。線虫に連作の挿合には急激に一種類の線虫が増殖を遂げ遂に作物植つけ不可能に陥る。

線虫内で最も被害甚な作物を擧げると大豆、小豆、各種フエジョン類、ゑんどう、トマテ、バタチニヤ、ナルブアセ、胡瓜、半夏、にんじん等々、被害少いもの大根、かぶアルフアフア、蔵、サルサ、レボリヨ、苺、アスパラガス百合、各種果樹類

無被害といつて真いものは稻麥類、玉蜀黍、燕麥、煙草本科牧草等

又最近の實驗によると線虫の發生して被害の酷しい作物が植付不可能に陥つた跡所は、前表の最後に掲げた無被害作物のみを選んで四ヶ年作るとさしもの大線虫も食物に欠乏して完全に消滅し、第一群の作物でも何等の心配なく作付可能となることが判明した。

伯國現況の事情から見て最も有効に線虫を驅除するには牧草を植え、パストとして四ヶ年經過後再び耕起して利用するのが一番便利ではならうか、トマテ、バタチニヤ等を主作する農家は三省すべき材料である

油桐の接木は今自由放任は駄目

ブラジルへ油桐が輸入されてから十年余になる、外國の書籍をたよりにしこれが試驗を行つてゐた結果初の數年間は豫想とは大變な相違の結果振りに大いに失望落胆したものであつた、原因は、各種樹類に共通な通り大いにむらがあることであつて、成績は豊熟するが非常に豊熟が少いものも多數に發生することである、線に悪つたことは最初の頃但國へ輸入された種は劣悪な品種であつたことである

然し一部の技術家間では果樹の一つである此の桐も接木によつて品種の統一と生産の増加を目標にして研究を重ね遂に成功し、現在では略所期の目的を達してゐる

接木の方法は葉柄中に芽接樹接等を行ひ好成績を收めてゐる、最も良結果を得るのは一年物の台木に行ふことで、木の茎が自然放置のものに比べ遙に低くこぢんまりと出來上り、又結果は一年早く結まることが實證され、今では殆んど接木だけを定植することゝなり、油桐は實が成るとか成らないとかの議論は昔話になつてしまつた

讀者の内で油桐苗を持つてゐられる方々は今直ち接木をして下さい

伯國產の兎皮

決して劣等ならず

工夫次第で優良品

ブラジルの兎の毛皮は駄目だとこれは通り相場になつてゐる然し果してそうであろうか、これに對する疑義は感じて然らず

一ヅ水の産物如何を以つて掛れば伯國產品と雖も充分使用に堪える良き毛皮が取れる

大體肉用に供するものは小兎が充分成長し切つた頃—八ヶ月乃至十ヶ月が最も肉味が勝れてゐる、然し此の程度では毛皮としては余り価値にならない、即ち皮のシマリが悪く過さすことにすれば何等遊ばせ毛皮用に供することが出來て便利である

毛はマバラで抜毛多く仕末が悪い、然るに三年を經過した老年期に入つて來ると皮厚くシマリも強く上等の毛皮を産する資格を備へて來るから、更に此に屠殺すべき季節を間違へず毛皮を取ると立派な品物となる、伯國では四月末に一度毛を刈り込み七月の中旬最も氣候の寒い時に屠殺すると良い

即ち一度刈り取つた毛の後に生える毛は一齊に父密に生え揃ひ、又毛しまりも上等であつて何等外國品に劣らないものとなる、此程度に達する期間は現在繁殖用に供し年を經過さすことにすれば何等遊ばせる無く、産を挙げつゝ毛皮用に供することが出來て便利である

麥と珈琲……

(農)(經) 州農界の變貌

驅州に小麥を作ることは痴人の夢だ、宜く玉蜀黍を作る可しと散々物笑ひの種になつてゐた事柄作ら、上司の命を受けた技師連は一向に恩ひ切らず、ひたすら品種の改良に精進し、又農家に殺培を好傳して來た効果は著しく、今年は州内の種子配布數實に三百トン以上と云ふ驚に達した、取量の點から云へば小麥は他の如何なる作物と比較しても最も歩合が悪い、即ち上作でも種の二十倍程、現在までの成績では——勿論無肥料——十五倍程度らしい

然し有難いことには他の作物を植付けない五月から九月初めまでの期間を利用して自家食料を挙げる點にある、少々色は黒くなるが、フパー挽きマキナで同様粉を作ると風味に富んだパン粉となる

◇ ◇

先週の日曜日に聯邦公報相場引上げを宣言し、スタカリ氣を良くしてゐる珈琲界は、火曜日には又候米國からタオーケを擴大する旨の通告をクチン・アメリカ諸國へ發した、此處業界は牡丹餅で顔を叩かれたような有様で余りのことに呆然としてゐる、此分では往年の黄金時代再來もまんざら夢ではないらしく、途中でアッサリ見切をつけた連中は最も馬鹿を見たわけ、余り賢いんはどうも今でも農家向きでは無いらしい

落ちついてゐる者は最後の勝利者である、農界も開つた

家鴨も仕事害虫を驅除！

冬が經過し春の暖い陽が來ると各種野菜類、果樹類等へなめくち、かたつむりが大擧して發生することがある、之は自然の觀則に應じて發生に大きくなるため、大發生と見られるわけである

之が退治には家鴨を使ふのが一番良いと面白い話が出てゐる、方法としては家鴨に先づ充分野菜物とえり餌を與へてから野菜畑へ放つと、背物には目も與れず專らなめくち、かたつむりを漁り餌ちの内に完全に退治して與れるといふうまい話である、此家鴨は絶對に駄目なことだけは斷つて置く

元ブラジル中央日本人會及聖市日本人會聚集ヒタル國防獻金及恒久品獻納ニ對シ左記各位宛感謝狀便宜當館ニ於テ之ガ配布ヲ委ス事ト致シタルニ付該當者ハ獻納年月日、金額及現住所ヲ明記ノ上至急御申出アリタシ

Consulado Geral do Japão
Caixa Postal, 1167 - S.ão Paulo

◎昭和拾參年拾壹月陸軍大臣感謝狀
上パタリヤ小學校兒童一同
モーロ・アグード聯合日本人會二枚
アミザーデ植民地二枚
カイシヤ・デ・アグア日本人會
デヤクチンガ日本人會
コレキンニヨ青年會
パラマンサ植民地
宣化會
セードロ日本人會
日ノ出植民地
アルトサンミゲル、カペセイラサンミゲル日本人會
イペラー日本人會
桂日本人會
アンナデイアス日本人會
イタリヤ日本人會
旭植民地
ダバチンガ聯合日本人會
パイネーラ日本人會
アリリ植民地日本人會二枚
サンタ・エウドシア日本人會
イビゲア日本人會
パルミタール日本人會
アルトパルミタール日本人會
アレタレン日本人會二枚
ジヤンガーダ小學校
中島農場 伊丹
ソウウラ自治會 安本靜子
鶴戸 人見武比古 小田八郎
上田内子 蓼田實 藤田善市
小松松太郎 中村 工藤茂
佐々木廣美 松浦 松森
上村 小林好平 平良
マカウーパス日本人會
サンタリーダ耕地
サンタマリア耕地石野
比嘉重雄 高山植民地
朝日植民地
フレゲジアドオ日本人會
ラポーザ・タバレスロ本人會
アミザーデ植民地
トレスポンテ植民地
イヂアル植民地 田鎬會
タイバス植民地
日ノ出小學校
◎昭和拾參年八月壹日
大藏大臣感謝狀
井邊信一 浦谷佐次郎
水谷繁市 緒方宋彦
崎濱秀先 小西吉太郎
角谷傳次郎 吉田登
田中治作 山根正人
宮本實彦 羽田松次郎
木村美太郎 森田吉太郎
西元晴盛 三宮專一
◎昭和拾年八月壹日
大藏大臣感謝狀
藤本榮 松本黨 丸山平雄
熊谷
ユークリデス、ゴンサルベスデ・オリベイラ
エヂイスバッシイ
時松光雄 西村洋救學院
口石精吉 田邊亮一
曾根五郎 日野旭之助
濱村 岡伊之助 三宮藤治
カタンツーバ月掛國防獻金團
堀江清 小川正男 二枚
マノエル・ファリヤ
島田末松 鷲見寫三
柳田仁三郎 吉崎增雄
大野七郎 上田順一
新高龍二 小林良定 杉山博
中村直記 宮崎宇太郎
丸善義成 篠崎二三四
杉本豊市 丸山伯男
北川與一 久保井正之
田淵久吉 森友衛 遠山辰治
時松義雄 坂本安太郎
間高紹子 太田六郎
吉本大治郎 三上誠一
奥儀次郎 宮平清吉
西野義平 山下忠藏 福田勝
内林永和 中路貞喜
安田孫太郎 杉本義信
堀恒平 嵐正男 井芹勝彦
奥田啓 伊藤强 錦戸長松
福山米太 伊東勳
ヴイクトリヤ青年團
モーロ・レロンド青年會
ジュンジアイーレチロ青年會
サンタ・イレーネ小學校
日勝青年會 ベルドン青年會
誠友會 ツルグナ小學校
アグアリンパ青年會
エスペランサ耕地
リオ・ド・ペイシエ希望青年會
サンパウロ愛國同志會
サンタレネレ第六區青年會
パラグランデ小學校
タンキ植民地小學校
同 青年會
サンタイネス青年會
ジヤ ガーダ小學校
ロッサグランデ青年會
フロレスタ青年會
同 女子青年會
成美青年會
サンパウロ女子無子會
ピネーロス女子青年會
コレゴナツセンテ小學校
コツケーロ植民地在住者
アジヤ補民地青年會
レノポリス日本人會
コルギンニヨ青年會
アグア・ベレーザ青年會
ガララベ日本人會
ピケロビー青年團
サンパウロ文化植民地青年會
カフエザール青年會
昭生小學校
グワルリヨス日本人會
ローレナ日本人會
グアルゼーア青年會
ジョゼ・テオドロ育英青年會
スザノ中央青年會
アグードス町在住者
常盤青年會